

栗駒山麓エコツアー

豊かな森で循環型の暮らしを学ぶ

桜の聖母短期大学 BACK TO THE NATUREプロジェクト



7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさを 守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう
--------------------------	----------------------	-------------------	---------------------	------------------	------------------

プロジェクトの背景



東日本大震災からの復興・再生を目指す福島県では持続可能な社会の再生を目指しています。そこで、自分たちが暮らす地域の環境を守るために、生物多様性を保護する重要な役割を担っている森林資源の利活用と環境負荷を軽減する循環型の暮らしについて学ぶこととしました。そして、これらを体験、発信することでSDGsの達成にも貢献することができると考えました。

目的

豊かな森で気候変動に対する具体策や循環型の暮らしを学び、森林の循環の重要性を発信することを目的としました。



対象地域

東北地方における好事例として、宮城・岩手・秋田の三県にまたがる栗駒山麓をフィールドに、各種アウトドア・プログラムを提供している「くりこま高原自然学校」（宮城県栗原市）にて、エコツアーを実施しました。



活動計画/情報発信

- 6月～7月 エコツアーの参加者募集
- 8月 自然体験プログラムにおける事前学習
- 9月 栗駒山麓エコツアーへの参加
- 9月～12月 桜の聖母短期大学公式HP、Instagram等にて活動内容を発信

フォトブック作成

活動内容からフォトブックを作成、オンラインでも成果を活用できるようにします。

参加者募集

桜の聖母短期大学内にて、くりこま高原自然学校へのエコツアーへの参加希望者を募ったところ、参加者は16名になりました。

- [学生] 15名
- [教員(顧問)] 1名



スケジュール/プログラム

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
【1日目】 9月7日(水)				集合・バス移動 福島駅→短大→栗駒山麓ジオパーク ビジターセンター			到着	昼食・休憩	オリエンテーション 「栗駒山麓の環境を知る」		チェックイン	夕食・温泉入浴			焚き火ナイト・自由時間・就寝
【2日目】 9月8日(木)	起床・身支度	朝の散歩	朝食・休憩	体験プログラム① ブナの森ネイチャートレッキング			昼食・休憩	体験プログラム② 循環型の暮らしづくり体験			休憩	夕食・温泉入浴			焚き火ナイト・自由時間・就寝
【3日目】 9月9日(金)	起床・身支度	朝の散歩	朝食・休憩	体験プログラム③ アウトドアクッキング			チェックアウト	体験プログラム④ くりこまくんえん・山の駅くりこま見学	出発・バス移動 栗駒岩ヶ崎地区→短大→福島駅			終了・解散			

活動内容

「こころを生きる。」

栗駒山麓の環境を知る

栗駒山麓ジオパークビジターや岩手・宮城内陸地震により発生した日本最大級の荒砥沢地すべりを見学しました。福島県とも共通する森林環境や地質、生物、文化などを学ぶことができました。

ブナの森ネイチャートレッキング

ブナの森、世界谷地湿原などの大自然をガイドトレッキングで歩きました。森林浴を楽しみながら、様々な動植物に触れ、森林が生命にどのように関わっているかを学ぶことができました。

循環型の暮らしづくり体験/アウトドアクッキング

イワナを塩焼きにして命をいただく、薪割り、火熾し、調理と森林を利用したエネルギー源を活用するといった循環型の暮らしを体験しました。自然と調和しながら、資源を有効活用し、廃棄物を最小限に抑えることの大切さを学びました。

プロジェクトのまとめ



東北地方における好事例として、宮城県の栗駒山麓の豊かな森で気候変動に対する具体策や循環型の暮らしを学び、その取組内容を直接体験することができました。その中で、自然の美しさを実感するだけでなく、環境保護や資源の有効活用について学ぶことができ、自分にできることを考えるきっかけになりました。本プロジェクトでの学びを生活に活かし、地域社会に貢献することができるよう、今後も継続的な取り組みを行っていきたいと考えました。

